



こんにちは。ファイナンシャルプランナーの崎です。
2020年ぐらいから金融庁は急激に金融教育に舵を切り始めました。
その大きな理由としては、本格的な物価上昇時代に入り貯蓄から投資ヘシフトしていかないと
預貯金は目減りしていき、老後の年金生活だけでは困ってしまうからです。
昨今よく使われている資産形成とは具体的にどのようなものなのでしょうか？

金融庁がお勧めする資産形成とは！

～金融庁がお勧めする資産形成に必要なステップは～

①家計の見直し
(余剰資金の確保)

②ライフプラン
(目的の明確化と人生設計)

③マネープラン
(長期分散積立資金)

家計の見直し

ついつい今流行だからとか置いて行かれない等の理由で、焦ってとりあえずNISAやiDeCoを始めましたという人が多いのですが、投資は長期間しっかりと資産を成長させていく行為であり、お金(収入)を「使う」と「貯める」と「増やす」という3つの支出に色分けする必要があります。もちろん生活をより良いものにするのが「使う」ですから、どのような人生を送りたいのかという想いを一番反映させたいところです。ただすべてを使ってしまえばどこか不安で心から楽しめないかもしれません。ですので、未来への仕送り「増やす」が必要なのです。ただ増やすには時間が必要なので様々な予期せぬ環境の変化にも耐えうるだけの余剰資金を「貯める」必要があります。一般的には生活費の3～6か月分と言われていますが、逆に言えばそれ以上貯めても物価上昇に負けてしまいもったいなく感じるかもしれません。また、「貯める」や「増やす」ばかりにとらわれ今を楽しめなかったら意味がありません。ということでまずは家計を把握し、必要であれば「使う」「貯める」「増やす」のバランスを見直していく必要があります。ここで創り出した余剰資金が投資の原資にもなります。

ライフプラン

未来までのお金の見える化をするのがライフプラン。ちゃんと見える化し向き合う事で未来を不安に思うのではなく、何が問題なのかを考え対策を考える事もできます。ただやみくもに金融商品に加入してみたが不安が消えないという人は、ライフプランによる見える化ができてなく何が問題でその問題をどの金融商品がどのように解決してくれるのかがまとまっていないかもしれません。

マネープラン

最後がいよいよ資産運用や投資などのマネープラン(お金の使い方)です。具体的に問題解決に向けたまたは自身のニーズに沿った金融商品などを使い、資産を形成していきます。大きく言うと、金融業とは「銀行」「保険」「証券」です。預かったお金を運用し、預けてくれた人に還元する方法がこの3社は違います。振り込みやATMといった流動性というサービスを提供するのが銀行。万が一の時の保障を確保してくれるのが保険。資産運用しお金を増やしてくれるのが証券です。この資産運用に関して金融庁は「長期分散積立投資」という手法を推奨しています。短期で売買せず「長期」で保有し、投資信託を使って「分散」することで長期間ほったらかしにしても紙切れになるリスクを極限まで抑え「積立投資」で日々の株価の乱高下に一喜一憂せず安心して投資を続けられる仕組みです。

まとめ

①家計の中のお金を把握することで、余剰資金を確保し無理のないお金を原資にする。②ライフプランに基づき解決したい問題や自身の優先順位に基づいた資金計画を立てる。③短期(銀行)、長期(証券)、万が一(保険)を活用し、目的に沿った金融商品を選び長期間ほったらかしにしても安心して資産形成できる仕組みを取り入れる。

この3ステップが金融庁が推奨する資産形成の具体的な方法です。ぜひ参考にしてください♪

お金の育て方ミニマネーセミナー

〈日程〉 9月27日(土) 14:00～15:00
9月28日(日) 10:00～11:00

〈開催場所〉 オンライン(zoom)



公式LINE

※お問い合わせ先は公式LINE、電話にて承ります。

ケイプ(株)リフォーム事業より～

エクステリア工事・外壁・屋根塗装工事・シロアリ点検など。
寒くなる時期が来る前にお風呂・キッチン・トイレなど水回りを快適にしませんか❀



〒672-8035

姫路市飾磨区中島804-1

永田第2ビル103

ケイプ株式会社 崎 佐知

079-263-7366

090-1445-9735(崎 携帯)

